

# JARL全世界10,000局アワード 申請書作成ファイル (QSLリスト作成)

ver1.0

2025.4.2

作成：JA0IAA 佐田 浩

## ご利用上の注意

- この作成ファイルは10000局のコールサインを記載するQSLリストを作成するものです。  
ITUゾーン・DXCCエンティティリストは別途作成をお願いします。
- Excel2019で作成しています。  
ファイル形式は97-2003形式 (.xls) ですが、データ並び替え機能を活用するには2007以降の機能が必要です。
- **入門レベルで結構ですが、エクセルの知識が必要です。**
- 以下の説明は、Excel2019を使用した場合です。  
バージョンによって、操作方法が異なる場合がありますので、適宜読み替えて下さい。
- プリントアウトには、**A3対応のプリンタが必要**です。
- 本ファイルは以下のシートで構成されています。

|        |                    |                 |
|--------|--------------------|-----------------|
| MANUAL | 本操作説明              | プロテクトあり         |
| INPUT  | 編集データを入力するシート      | プロテクトなし         |
| ID     | 申請者のコールサイン・氏名を入力   | プロテクトなし         |
| S1-S17 | 提出リスト              | プロテクトあり、入力不可    |
| CAIN   | 編集データをシート毎に変換したデータ | プロテクトあり、入力・編集不可 |
- リストのマーク (ITU、エンティティ、7大陸)、局数は手書きで記入して下さい。
- コールサインや各種データ入力する文字は、半角にして下さい。
- **申請局は10,000局ぴったりではなく、局数を増やして (0.5-1%程度) 申請することを強く推奨します。**  
**また、追記する場合に備えて原紙シートの右端の1列は空白にし、1シート600局でプリントします。**  
10,000局ちょうどでリストを作成、証明チェックで不備が発見されたらどうしますか？パーフェクトなリストはほぼ皆無でしょう。プリントやり直しはコストも時間もロス、ペンで削除・追記するとしても追記箇所が最後では、JARLの担当者の手を煩わせます。  
局数に余裕があれば、コールサインを横線で削除するだけですし、削除・追記するのであれば同じシートのほうが審査が楽で親切ですね。

## 共通基本情報の入力

- シート ID に申請者のコールサイン、氏名を入力して下さい。  
交信局リスト (最大17枚) にすべて自動入力されます。  
それぞれセルC5・C6に入力が必要ですので、行列の位置を変更してしまった場合は、修正して下さい。

## ハムログからデータ抽出 \*\*

- ハムログからコールサインのデータを抽出します。  
ハムログのデータをCSV形式で出力します。**複合検索・コールサイン順 (重複無し) で出力**して下さい。  
出力場所は、自分の作業しやすいフォルダ・デスクトップで構いません。  
\*エクセル形式で出力しても構いませんが、すぐにはファイル保存されず画面表示のみになります。  
後で保存して下さい。  
**\*\*同様にコールサインを重複なしで抽出出来るログソフトであれば、活用可能です**

## CSVファイルを本ファイルに変換・貼り付け

- 1) CSVファイルをエクセルで開きます。  
作業方法の説明は省きます。理解できない方は、エクセルの勉強をして下さい。
- 2) 全データが出力されるので、コールサインの列のみコピーし、本ファイルのシートINPUTにあるB2より下の列に貼り付けます。  
(B1に「コールサイン (オリジナル)」とありますが、この下です)  
1番目のコールサインがB2に、2番目のコールサインがB3に入ります。3番目以降、B4、B5・・・と入ります。 **A列は式が入力されています。消去したり、数字を直接入力しないで下さい。**  
\* 誤ってA列を削除した場合、以下の数式を入力して下さい。  
=ROW()-1  
A2-A12001は、行番号から1を引いた数字が表示されます。

データは、最大13,000局まで貼り付け可能です。

あとで不要データを整理して約1万局に絞り込みます。ここではデータを行で削除しないで下さい。

1万個以上のセルコピーは、最初は難しいと思います。数回に分けてコピーしてから貼り付けることを繰り返して下さい。

- 3) ITUゾーン・エンティティに適用するQSLを明確にするため、E・F列にマークを付けます。  
局数絞り込みの際、誤って除外しないために入力をおすすめします。エンティティなら必要を示すために"1"や"0"を入力すれば十分ですし、ITUならITUゾーンナンバーを入れておけばチェックに役立ちます。ITUゾーンでソートすれば、ITUのリストを作成する際に有効です。エンティティとコールサインでソートすれば、エンティティリスト作成に便利です。

| B                 | C               | D  | E   | F      | G               | H     |
|-------------------|-----------------|----|-----|--------|-----------------|-------|
| コールサイン<br>(オリジナル) | コールサイン<br>(修正分) | 除外 | ITU | ENTITY | コールサイン<br>(修正後) | QSL区分 |
| 4S7V              |                 | 1  |     |        | 4S7V            | E     |
| 4U1               |                 | 1  |     |        | 4U1             | E     |
| 4U1               |                 | 1  |     | 1      | 4U1             | C     |
| 4W6               |                 | 1  | 54  |        | 4W6             | E     |
| 4W8               |                 | 1  |     | 1      | 4W8             | E     |
| 4X0               |                 | 1  |     |        | 4X0             | C     |
| 4X1               |                 | 1  |     |        | 4X1             | C     |
| 4X1               |                 | 1  |     |        | 4X1             | L     |
| 4X1               |                 | 1  |     |        | 4X1             | E     |
| 4X1               |                 | 1  |     |        | 4X1             | E     |
| 4X1               |                 | 1  |     |        | 4X1             | C     |
| 4X1               |                 | 1  |     |        | 4X1             | C     |
| 4X4               |                 | 1  |     |        | 4X4             | E     |

- 4) ルールで見落としがちな点を追記します。  
私の場合、DXはUTC、JAはJSTでデータを入力します。上記までのデータ抽出作業はUTCのみしか実行していないので、JAは含まれません。JA/JD1 (小笠原) /JD1 (南鳥島) をJSTで入力されている方はデータの末尾に追加して下さい。ITU45はJAしかありません。それぞれ1局のみです。
- 5) リストから除外したいデータを決めます。D列に採用するデータは1、除外するデータは0を入力します。数字は半角で入力して下さい。  
このアワードは、2名の証明 (1名はJARL会員、もう1名は登録クラブ会長、社員、支部長以上の役職者) が必要です。チェックの容易なQSLを優先すべきでしょう。  
私見ですが、紙QSL・印刷済みのeQSL・電子ファイルのQSLの順に優先順位をつけると良いと思います。まずはコールの連続ではなく、徐々に減らして下さい。  
D列は同じデータを入力し続ける箇所が多々あります。オートフィル機能で最初に1を多数並べ、次に除外データを手入力で0を入力すると作業が楽です。

6) QSLリストには、コールサイン（オリジナル）と記した列のコールサインは反映されます。

ここで一部のコールサインを修正します。

a) 不要なコールがある場合 /QRPは正式コールではありません オリジナルの箇所を削除します。

（しなくても審査ではOKですが、コールの文字列が長くなり、リストが見にくい）

b) エンティティが最初に出てくる場合 「修正分」のC列に元のコールを入力します

DXではKH8/xxxxxxxのように、元のコールの前にエンティティを示すコールがあります。

国内ではJX0xxx/1のように、必ず元のコールが最初に来ます。1局のみしか使えないのが明確にわかります。

ところが、DXでは数字・アルファベット順に並べると、同一局が複数回カウントされることがあります。

私の場合、こんな事例がありました。同一局です。

WE9G、 JW/WE9G、 KH8/WE9G

**JARL会員の証明、JARL事務局のチェックミスを軽減するため、これは"WE9G"として1回のみカウントすべきです。（ルールでは曖昧ですが、私の判断で実行しました）**

その中の最も活用したい（エンティティ、ITUで必須である等）QSLを選び、修正分のC列にオリジナルのコール"WE9G"と入力します。これは隠して表示していないG列（式が入っています）に反映されます。

G列はコールサインを数字・アルファベット順に並べる（ソート）ために用意してあります。変更不要なコールサインはそのままコピーされます。

**ソートすると、JW/WE9GはWの位置に並びます。オリジナルコールのWE9Gと重複しても容易に確認出来ます。**

| B                 | C               | D  | E   | F      | G               | H     |
|-------------------|-----------------|----|-----|--------|-----------------|-------|
| コールサイン<br>(オリジナル) | コールサイン<br>(修正分) | 除外 | ITU | ENTITY | コールサイン<br>(修正後) | QSL区分 |
| WE7DW             |                 | 1  |     |        | WE7DW           | C     |
| WE8L              |                 | 1  |     |        | WE8L            | E     |
| WE8Y              |                 | 1  |     |        | WE8Y            | E     |
| JW/WE9G           | WE9G            | 1  |     | 1      | WE9G            | C     |
| WE9V              |                 | 1  |     |        | WE9V            | E     |
| WF8E              |                 | 1  |     |        | WF8E            | E     |
| WG4P              |                 | 1  |     |        | WG4P            | E     |
| WH6S              |                 | 1  |     |        | WH6S            | E     |
| WH6WW             |                 | 1  |     |        | WH6WW           | E     |

他の事例は以下の通りです。

SV9/J43ND → J43NDとしてJ43の位置へ

BW2/JP1RIW → JP1BIWとしてJP1の位置へ

7) QSL区分は必要な方のみご利用下さい。私は、紙QSLは"C"、e-QSLは"E"、LoTWは"L"とはHamlogで入力する習慣がある（重複した場合は優先順位をC>E>Lの順につける）ので、自分でチェックする際にQSLが無い！と騒ぐことは少なかったと思いますHi。

## 必要データの並び替え

### 1) 並び替え（ソート）の機能を使い、並び替えを実行します。

#### A) 全セル選択ボタンをクリックし、全セルを選択

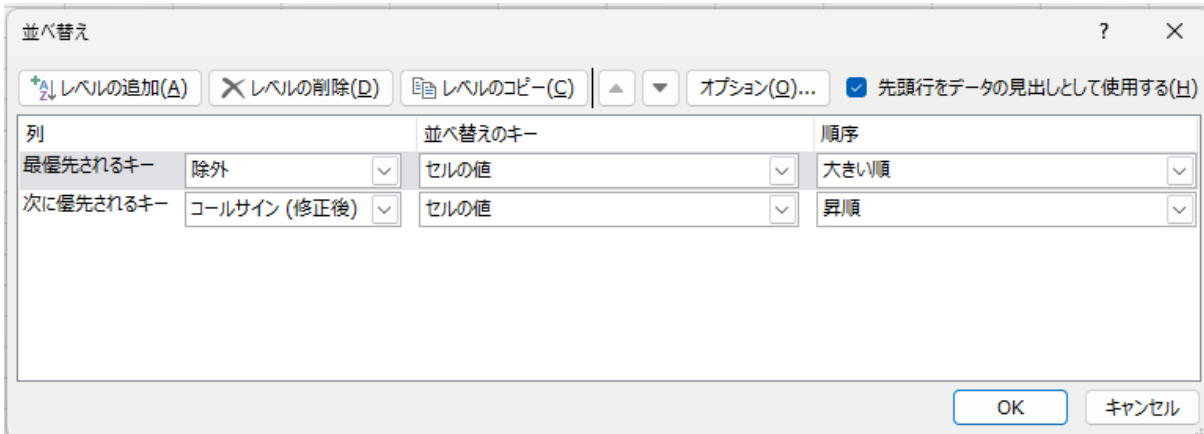
『全セル選択ボタン』とは、シートの行番号と列番号が交差する矢印箇所です。列番号Aの左・行番号1の上です。  
クリックするとシート全体の色が変わり、選択されます。



#### B) 「データ」 → 「並び替えとフィルター」 → 「並び替え」をクリック

下のような「並び替え」の条件を設定します。

- ・右上の「先頭行を・・・」をクリックして有効に
- ・「レベルの追加」から2項目と設定      この後に「OK」



### 2) 作業後データを確認します。

コールサインデータは、エクセルのソート順のルール通りに並んでいるはずですが、  
主な注意点は以下の通りです。これが世界のスタンダードです。

- 1) プリフィックスの先頭の文字が1、2、3、・・・、9、そしてA、B、C、・・・、Y、Zの順
- 2) プリフィックスはJAのように原則3文字ではないので、いろいろパターンあり  
G0、G1、G2、・・・G9 と0から始まり、さらにGB、GD、GE、・・・続く  
LZ146、LZ1515、LZ1L・・・と、最初の文字が同じなら次は数字が優先  
数字が2桁以上含まれると、意図としない箇所で見つかります。
- 3) サフィックスも文字数が2桁、3桁というJAルールではなく文字列のアルファベット優先  
\*\*0A、 \*\*0AA、 \*\*0AAA、 \*\*0B、 \*\*0BA、 \*\*0BAC、 \*\*0BB、 .....

### 3) 不要データの除外

データとQSLカードを照合し、使えないデータを除外します。

**D列（除外）の数字を採用する『1』から除外する『0』に書き換えます。**-1でも-2でもOKです。  
まれに長いコールサインがあります。これもリストから文字がはみ出しそうであれば除外します。  
除外するコールサインは、**各シート毎に分散させる**ことをおすすめします。不備のあるQSLが発見した場合、**削除して同一シート内に入るコールを追加すれば、シート1枚の再印刷で済みます。**  
全体をチェックし終わったら、ソートを実行します。

#### <注意>

不要データは、**行削除せずにD列の数字変更で実行して下さい。**

行削除しても問題ないように配慮してありますが、削除データは復活出来ません。

### 4) データの追加

データを追加する場合、データの入っていない最後の行に追加します。ソートするので、有効なデータの下が空白行があっても構いません。（13000行より上であればHi）  
コールサインとD列にデータを採用する『1』を入力して上記と同じ条件でソートします。

### 5) データの復活

除外したデータが必要になった場合、D列の数字を『0』から『1』に変更し、ソートします。

6) リストに空白を追加する

リストは10,000局の場合、最大17枚になります。最初に書いた通り、余裕を持たせて1%増の10,100局がプリント可能です。各シートは600局、17枚目のリストは500局（9601-10,100局）です。10,000-10,100局が無効なデータの場合でも不要なデータがプリントされます。予備は50局で十分、とお考えの方もいるでしょう。

これを回避するため、**除外のコールサインに"0"を入力し、ソート**します。  
 コールサインが空白の行は有効データの下に並び、リストには空白になります。

| A     | B                 | C               | D  | E   | F      | G               | H     | I |
|-------|-------------------|-----------------|----|-----|--------|-----------------|-------|---|
| 局数    | コールサイン<br>(オリジナル) | コールサイン<br>(修正分) | 除外 | ITU | ENTITY | コールサイン<br>(修正後) | QSL区分 |   |
| 10085 | ZS5C...           |                 | 1  |     |        | ZS5C...         | E     |   |
| 10086 | ZS5F...           |                 | 1  |     |        | ZS5F...         | E     |   |
| 10087 | ZS5...            |                 | 1  |     |        | ZS5...          | E     |   |
| 10088 | ZS6A...           |                 | 1  |     |        | ZS6A...         | E     |   |
| 10089 | ZS6C...           |                 | 1  |     |        | ZS6C...         | E     |   |
| 10090 | ZS6C...           |                 | 1  |     |        | ZS6C...         | E     |   |
| 10091 | ZS6F...           |                 | 1  |     |        | ZS6F...         | E     |   |
| 10092 | ZS6F...           |                 | 1  |     |        | ZS6F...         | E     |   |
| 10093 | ZS6F...           |                 | 1  |     |        | ZS6F...         | E     |   |
| 10094 | ZS6F...           |                 | 1  |     |        | ZS6F...         | L     |   |
| 10095 | ZS6F...           |                 | 1  |     |        | ZS6F...         | L     |   |
| 10096 | ZS6F...           |                 | 1  |     |        | ZS6F...         | E     |   |
| 10097 | ZS6C...           |                 | 1  |     |        | ZS6C...         | L     |   |
| 10098 | ZS6F...           |                 | 1  |     |        | ZS6F...         | E     |   |
| 10099 | ZS6V...           |                 | 1  |     | 1      | ZS6V...         | E     |   |
| 10100 | ZS6Z...           |                 | 1  |     |        | ZS6Z...         | E     |   |
| 10101 |                   |                 | 0  |     |        |                 |       |   |
| 10102 |                   |                 | 0  |     |        |                 |       |   |

| A     | B                 | C               | D  | E   | F      | G               | H     |
|-------|-------------------|-----------------|----|-----|--------|-----------------|-------|
| 局数    | コールサイン<br>(オリジナル) | コールサイン<br>(修正分) | 除外 | ITU | ENTITY | コールサイン<br>(修正後) | QSL区分 |
| 10085 | ZS5GJK            |                 | 1  |     |        | ZS5GJK          | E     |
| 10086 | ZS6URF            |                 | 1  |     |        | ZS6URF          | E     |
| 10087 | ZS6...            |                 | 1  |     |        | ZS6...          | E     |
| 10088 | ZS6...            |                 | 1  |     |        | ZS6...          | E     |
| 10089 | ZS6...            |                 | 1  |     |        | ZS6...          | L     |
| 10090 | ZS6...            |                 | 1  |     |        | ZS6...          | L     |
| 10091 | ZS6...            |                 | 1  |     |        | ZS6...          | E     |
| 10092 | ZS6...            |                 | 1  |     |        | ZS6...          | L     |
| 10093 | ZS6...            |                 | 1  |     |        | ZS6...          | E     |
| 10094 | ZS6...            |                 | 1  |     | 1      | ZS6...          | E     |
| 10095 | ZS6...            |                 | 1  |     |        | ZS6...          | E     |
| 10096 |                   |                 | 0  |     |        |                 |       |
| 10097 |                   |                 | 0  |     |        |                 |       |
| 10098 |                   |                 | 0  |     |        |                 |       |
| 10099 |                   |                 | 0  |     |        |                 |       |
| 10100 |                   |                 | 0  |     |        |                 |       |
| 10101 |                   |                 | 0  |     |        |                 |       |
| 10102 |                   |                 | 0  |     |        |                 |       |

データの確認

1) シート1から順番にコールサインが表示されていることを確認します。1枚あたり600局です。  
 1枚640局記載可能ですが、右列の未記入の箇所はチェック後の修正（手書き）にご利用下さい。

2) シートのデータに文字欠けがないかチェックします。  
**シートには直接文字入力出来ないようにプロテクトをかけてありますが、セル毎に文字サイズは変更可能です。**フォントは私の好みで「游ゴシック」にしましたが、変更可能です。  
 文字幅の狭いMSゴシックでも良いでしょう。

## プリントアウト

- シート1-17を印刷します。A3用紙をご用意下さい。  
念のため、印刷プレビューで仕上がりに問題がないか確認して下さい。  
余白はプリンタによって制約が異なります。調整をお願いします。（キヤノンのA3レーザーで評価しました）  
エクセルは、セル一杯に文字を入力すると、文字の一部欠け、右隣のセルへはみだし、####のように正しく表示されない場合があります。（プレビューでOKでも、印刷したら欠けることもあります）  
文字数の多いコールサインは要注意です。

## その他

- 数式が入力してあるシートに直接データを入力するトラブルを防止するため、入力不要なシートにはプロテクトをかけてあります。  
パスワードを公開しますが、解除後は自己責任でご利用下さい。  
パスワード：jarlww10k  
解除は、メニューの「校閲」から「シート保護の解除」をクリックします。パスワードを入力します。  
再設定は、同じ「校閲」から「シートの保護」をクリックし、パスワードを2回入力します。
- このシートは、関数のみで編集しています。  
独自の編集は、関数をご理解いただける方のみ自己責任でお願いします。
- バグレポートを歓迎します。  
具体的な情報を添付した上、メールでお知らせ下さい。  
メールアドレス以外に、コールサインとお名前をお願いします。  
クイックレスポンスは保証しかねますが、時間を見て対処させていただきます。
- 連絡なしのネット上の二次配布はお断りします。  
連絡なき場合は、バグが発生していてもフォローの連絡はいたしません。

## 履歴

- 2025/4/2      新規公開